

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2008年第25号(週報)

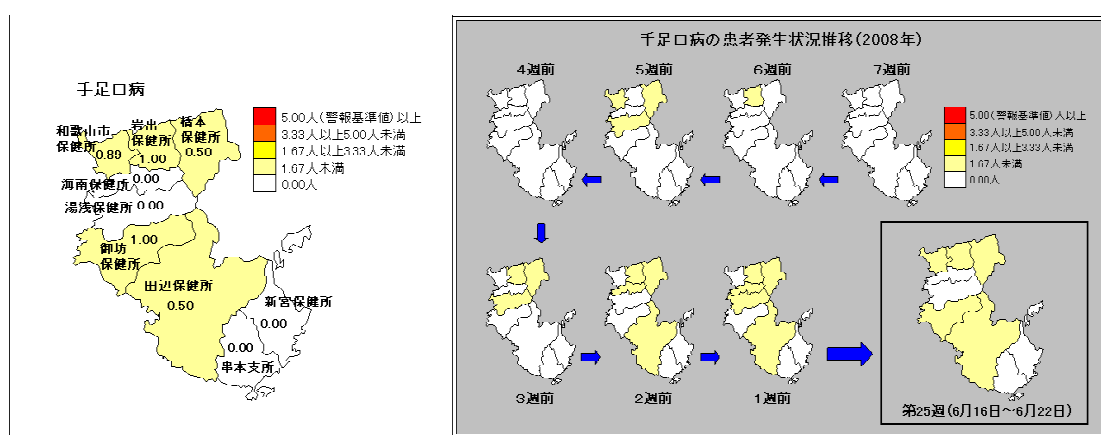
週報第25週(6月16日~6月22日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

一 手足口病 : 流行の時期 一

例年、夏に患者の報告が多くなります。昨年、和歌山県では大流行しました。

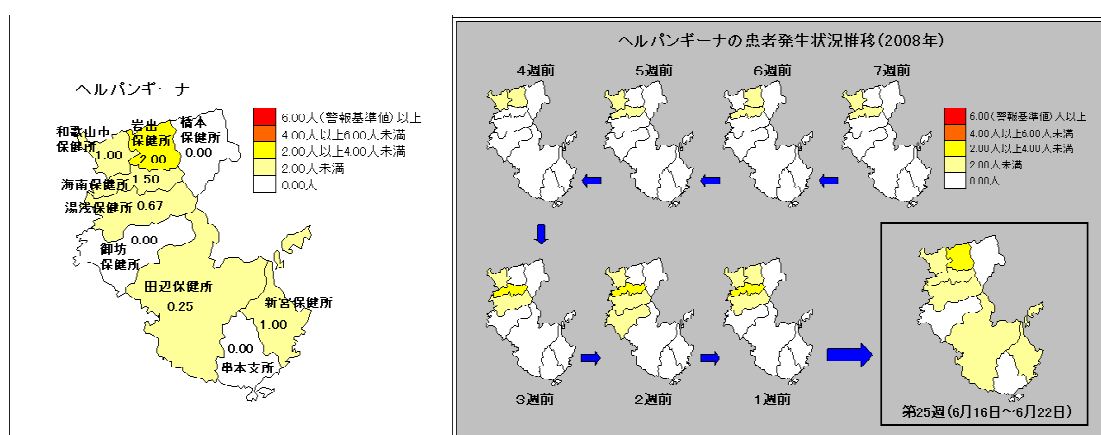
これから患者報告数が増加すると予想されますので注意が必要です。現在、増加の兆しがあります。



一 ヘルパンギーナ : 流行の時期 一

例年、夏に患者の報告が多くなります。

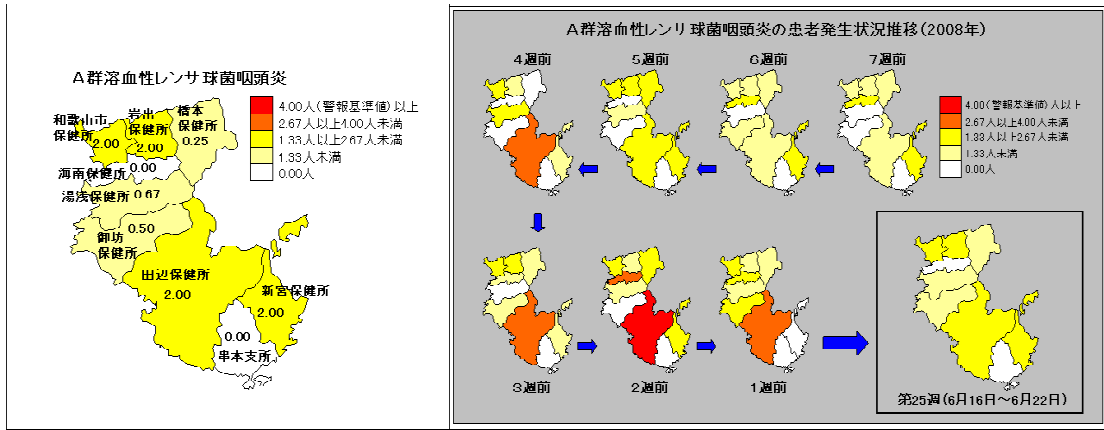
これから患者報告数が増加すると予想されますので注意が必要です。現在、増加の兆しがあります。



一 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : 田辺保健所管内は患者数減少も警報発令中! 一

田辺保健所管内の患者報告数は大きく減少しましたが、第23週(6/2~6/8)の報告で発令された同管内の警報は継続されました。

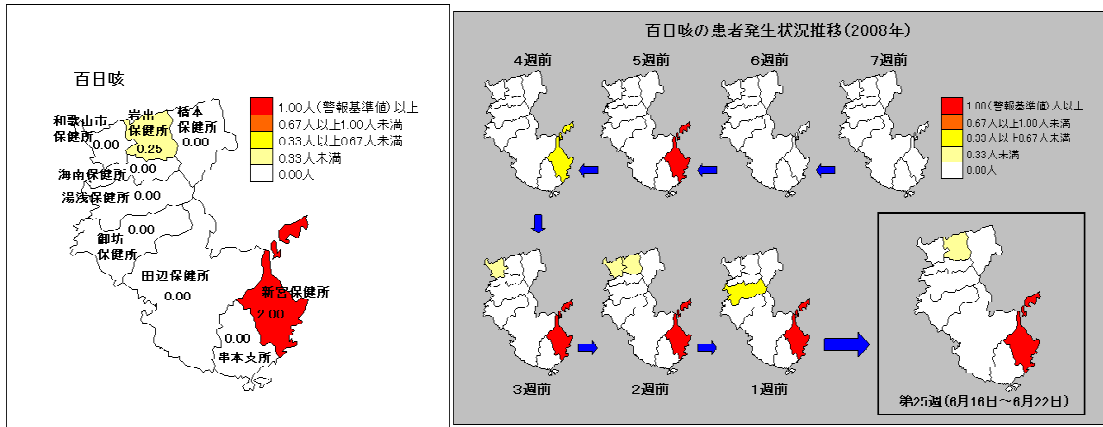
国立感染症研究所が発行するIDWR(第23週:6/2~6/8)によると、第23週の国内の患者数は過去10年間の中で最も多くなっています。例年、県内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者数は夏から減少傾向を示し、冬まで比較的少ない状態で推移していますが、注意が必要です。



— 百日咳 : 新宮保健所管内に警報発令中! —

第20週(5/12～5/18)の報告で発令された新宮保健所管内の警報については今週も継続されました。

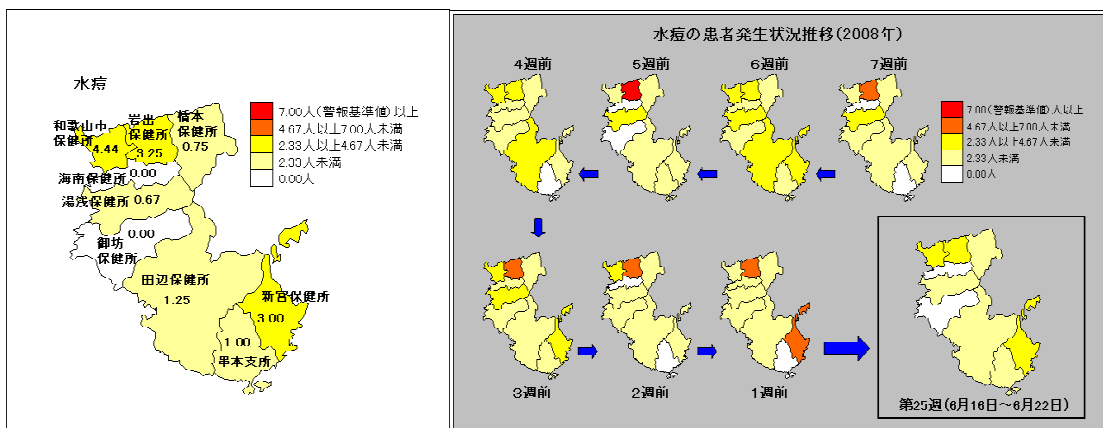
国立感染症研究所が発行するIDWRによると、国内における百日咳の患者報告数は過去5年間の同時期と比較してかなり多いと報告されています。特に、20歳以上の成人患者の割合が年々増加していると報告されています。これは、麻しんと同様に、ワクチン接種で得られた免疫が弱くなっていることが原因と考えられます。



— 水痘 : 和歌山市保健所管内に注意報発令! —

和歌山市保健所管内に注意報が発令されています。前週(第24週:6/9～6/17)発令された岩出及び新宮保健所管内の注意報は解除されました。地域別では患者報告数の増減が見られますが、県全体では横ばいで推移しています。

過去5年の推移を見ると、夏休み頃を向かえる頃から報告数が減少し、冬頃まで比較的少ない時期となっています。



◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

＜届出状況＞ ※当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 2 名
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 名
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：報告はありませんでした。

◆◆ 5 類定点把握感染症（週報）について ◆◆

＜警報注意報発令状況＞

警報発令

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（田辺保健所管内）、百日咳（新宮保健所管内）

注意報発令

水痘（和歌山市保健所管内）

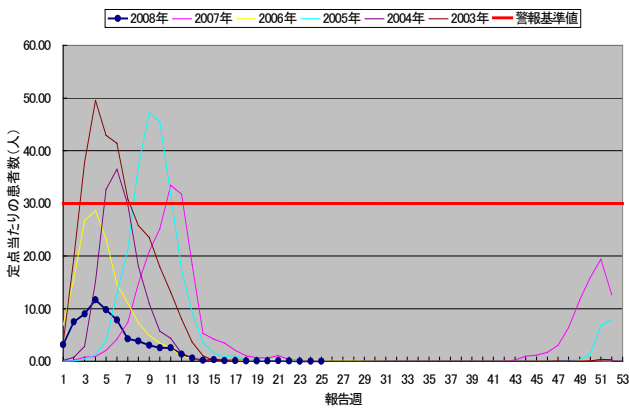
＜患者数上位 5 位＞

- 1位 感染性胃腸炎(3.33)
- 2位 水痘(2.23)
- 3位 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.33)
- 4位 突発性発疹(1.07)
- 5位 ヘルパンギーナ(0.80)

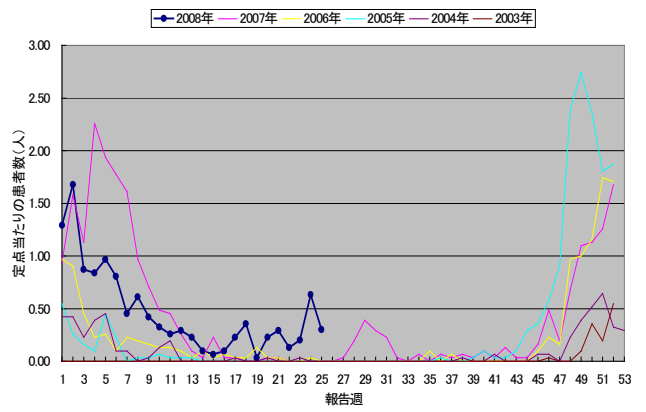
＜週報定点グラフ総覧＞

1. 患者数の推移（過去5年の推移と比較）

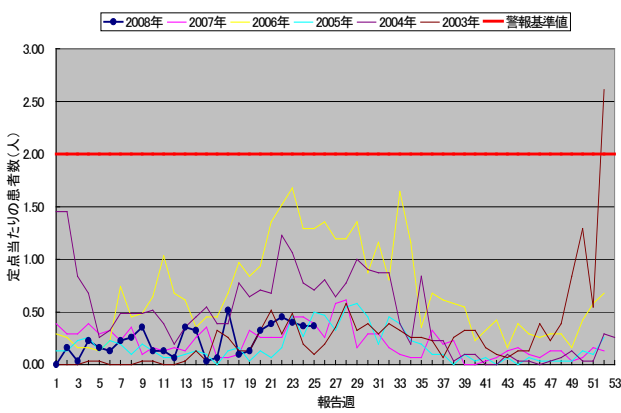
インフルエンザ(和歌山県)



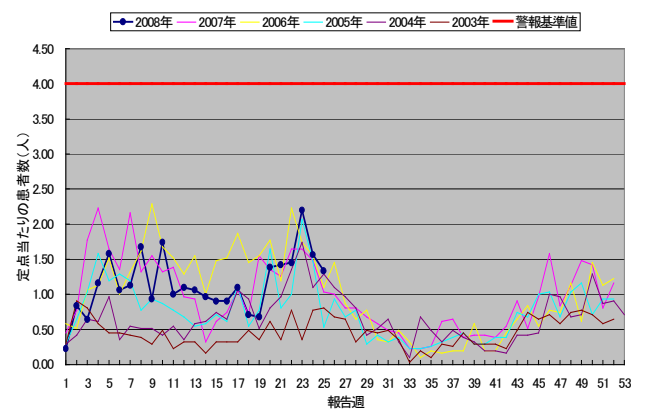
RSウイルス感染症(和歌山県)



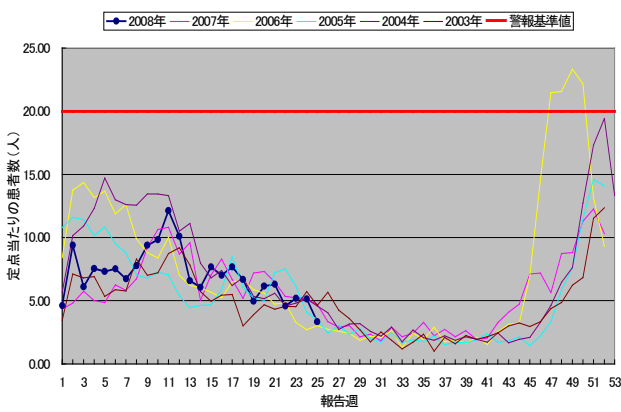
咽頭結核菌感染(和歌山県)



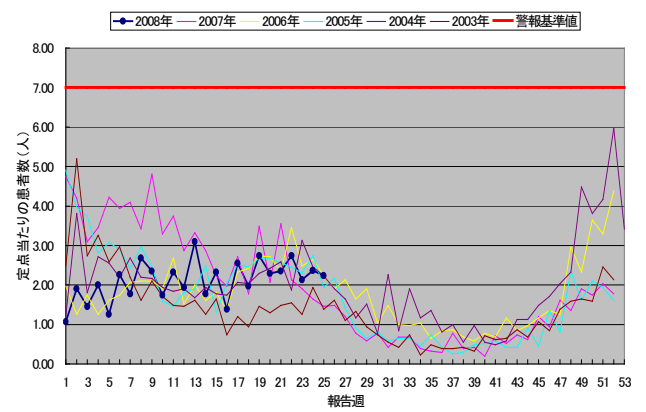
A群溶血性レンガ球菌咽頭炎(和歌山県)



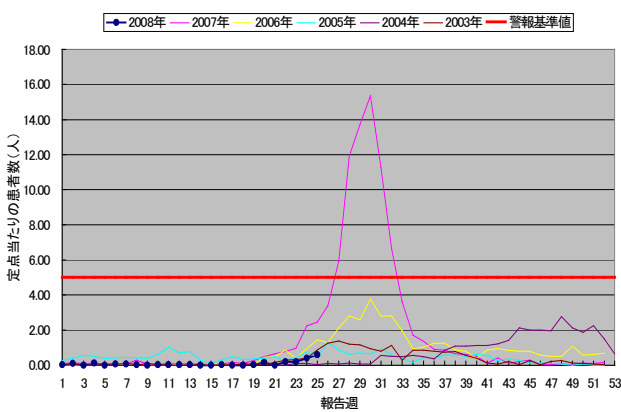
感染性胃腸炎(和歌山県)



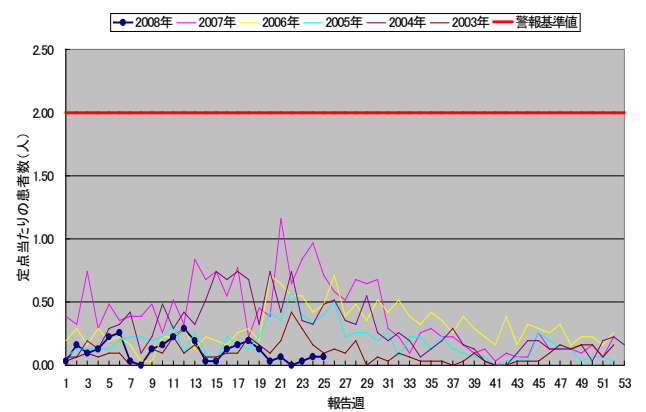
水痘(和歌山県)



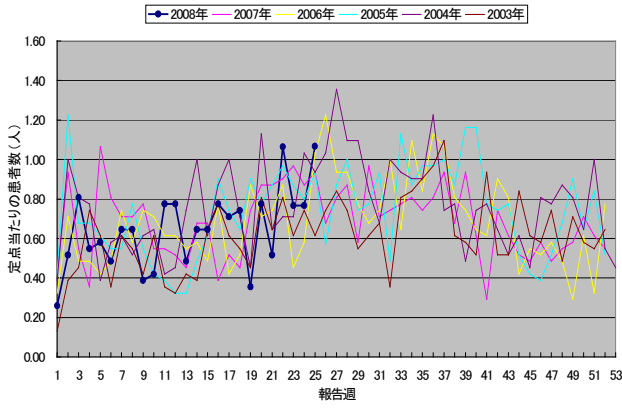
手足口病(和歌山県)



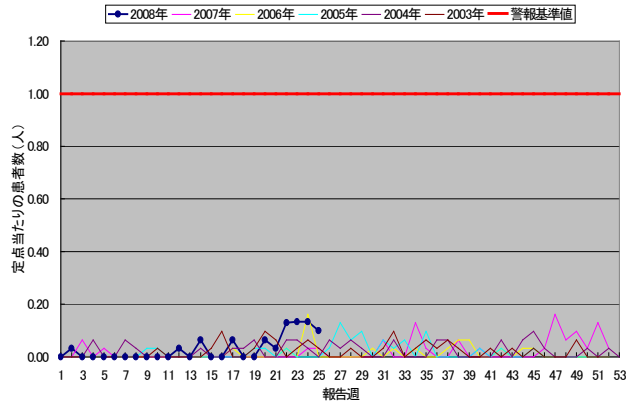
伝染性紅斑(和歌山県)



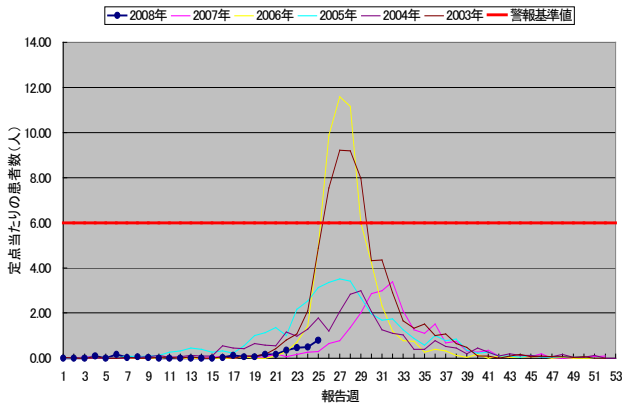
突発性発疹(和歌山県)



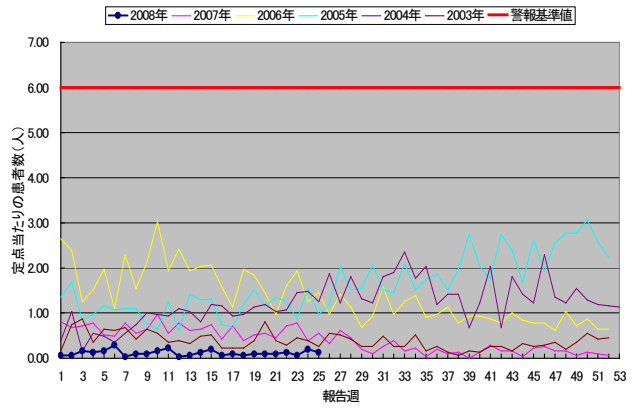
百日咳(和歌山県)



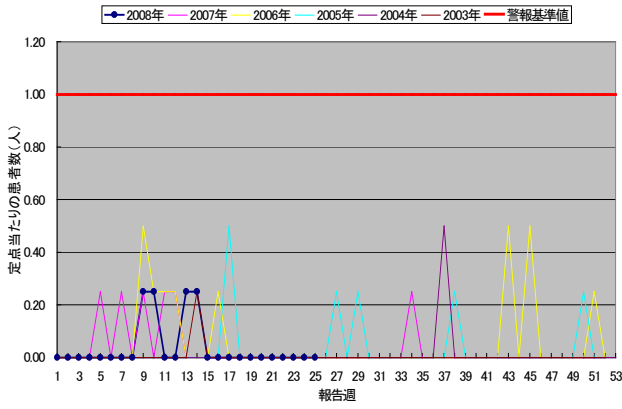
ヘルペギーナ(和歌山県)



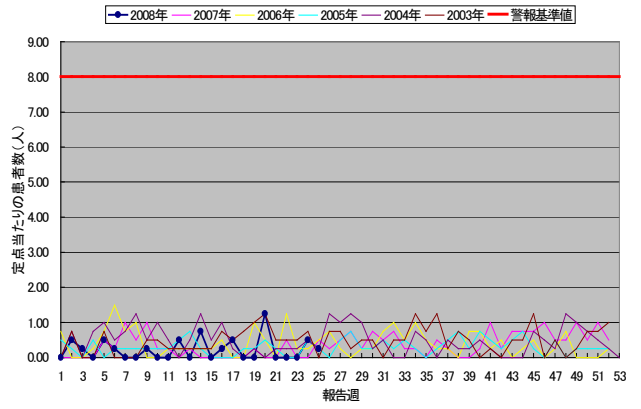
流行性耳下腺炎(和歌山県)



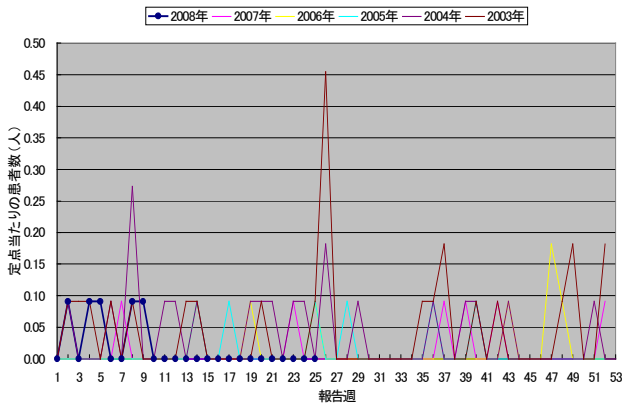
急性出血性結膜炎(和歌山県)



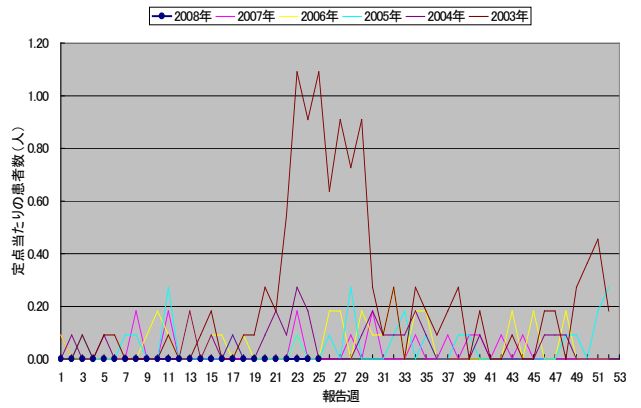
流行性角結膜炎(和歌山県)



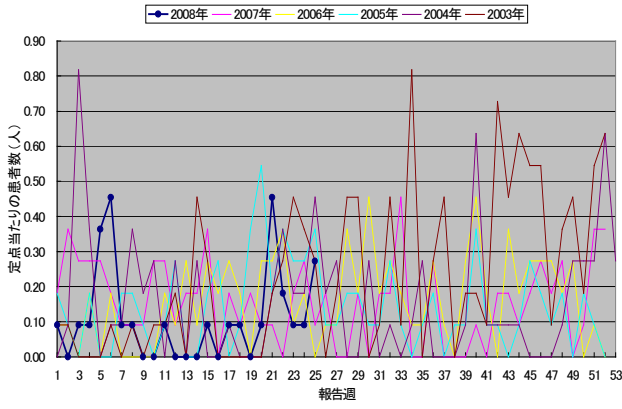
細菌性髄膜炎(和歌山県)



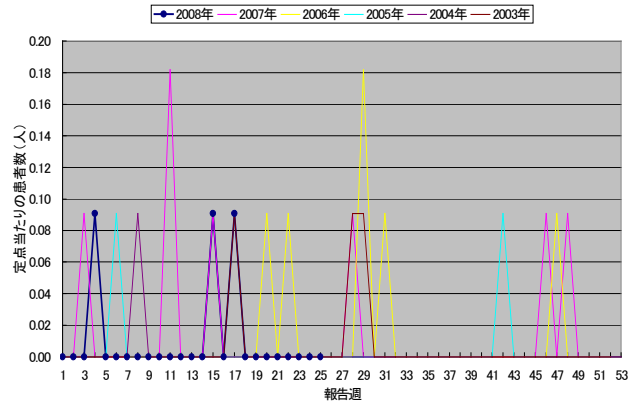
無菌性髄膜炎(和歌山県)



マイコプラズマ肺炎(和歌山県)

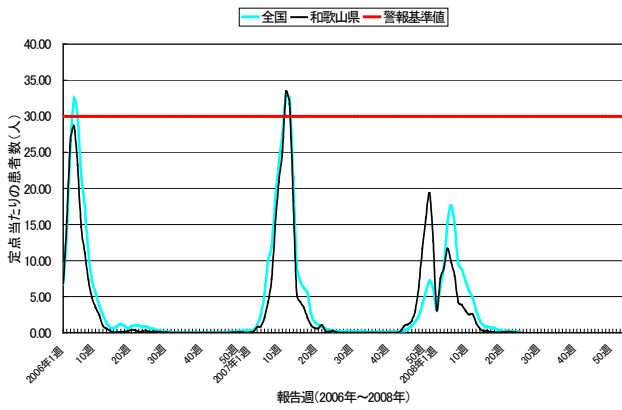


クラミジア肺炎(和歌山県)

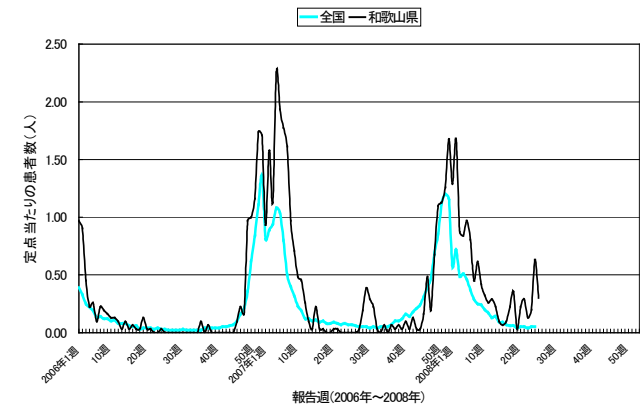


2. 患者数の推移 (全国と比較)

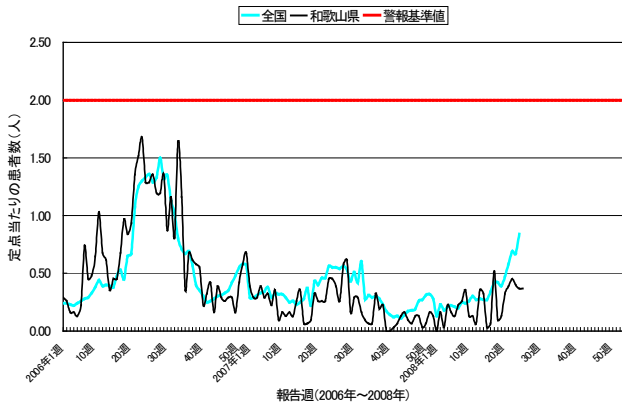
インフルエンザ



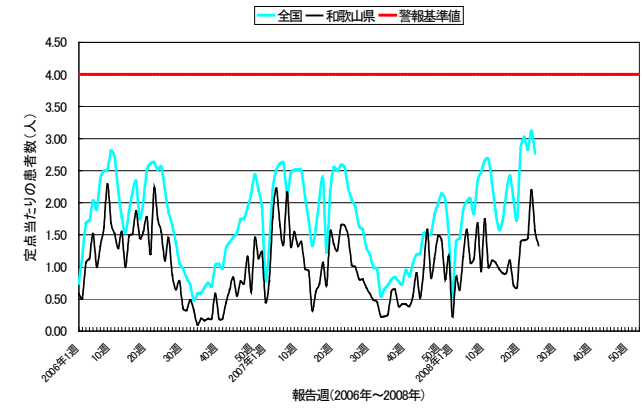
RSウイルス感染症



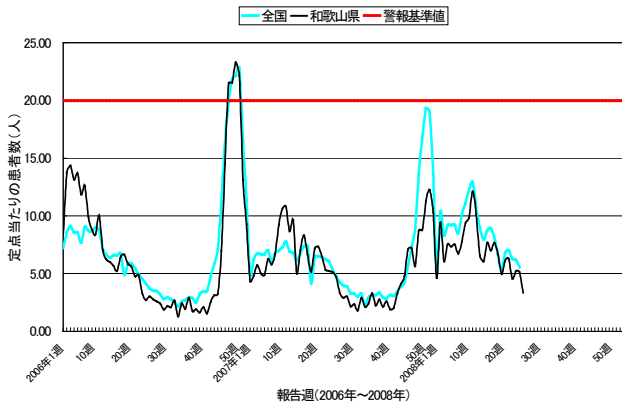
腺炎腺炎



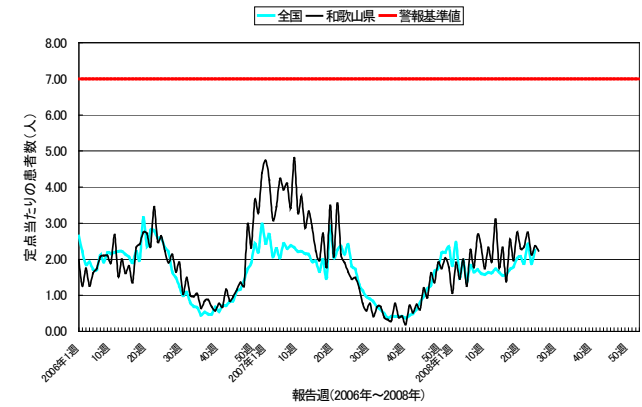
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



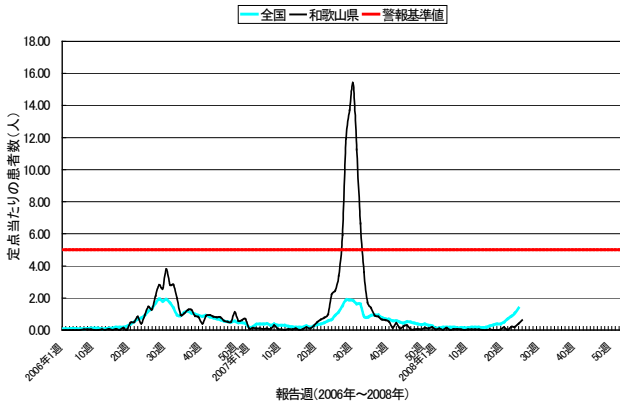
感染性胃腸炎



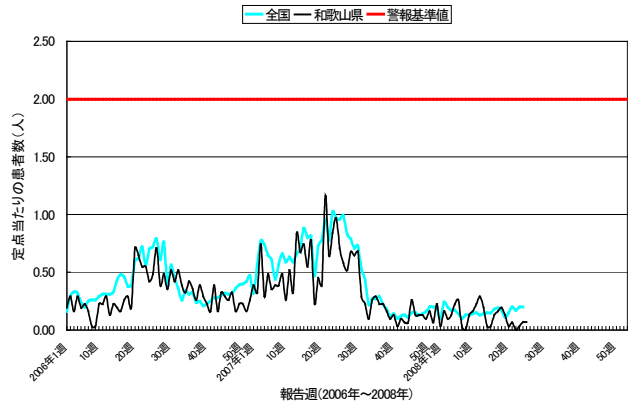
水痘



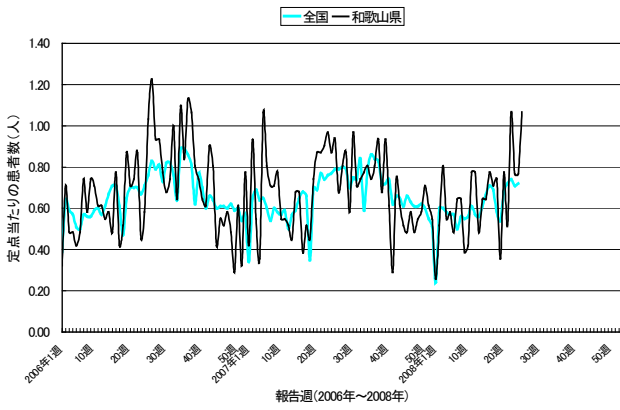
手足口病



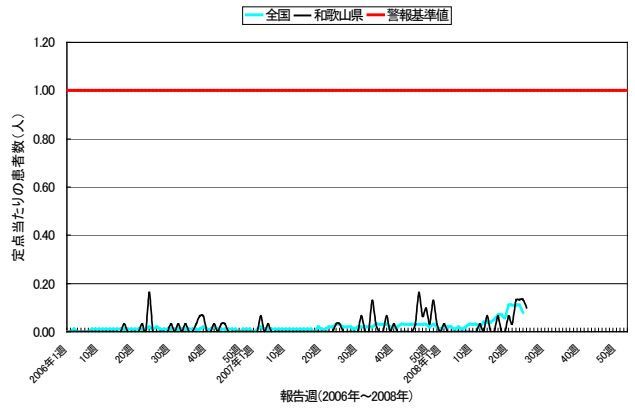
伝染性紅斑



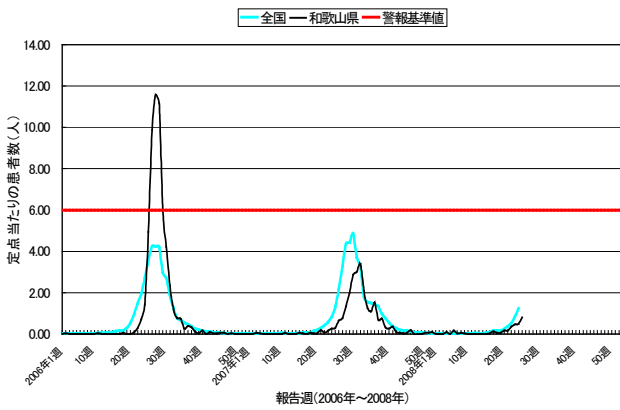
突発性発疹



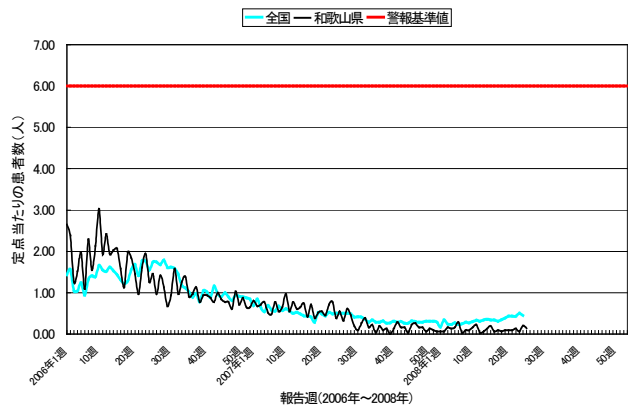
百日咳



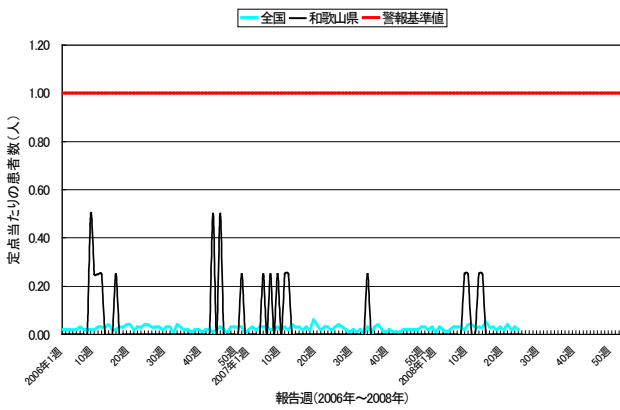
ヘルペシナ



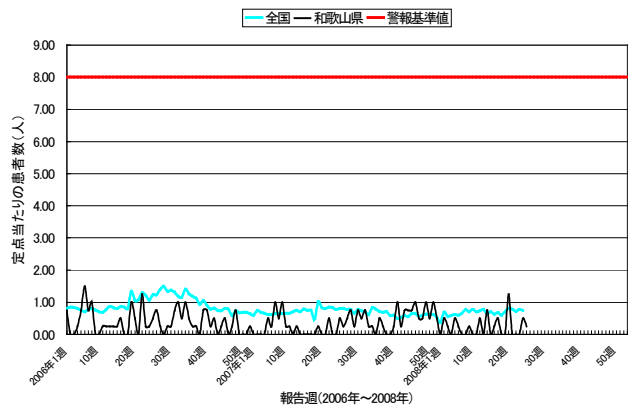
流行性耳下腺炎



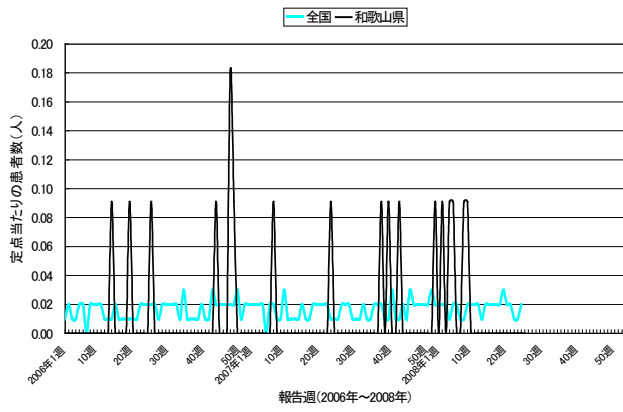
急性出血性結膜炎



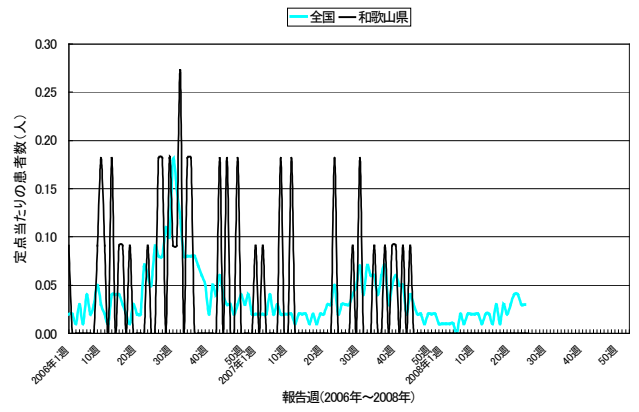
流行性角結膜炎



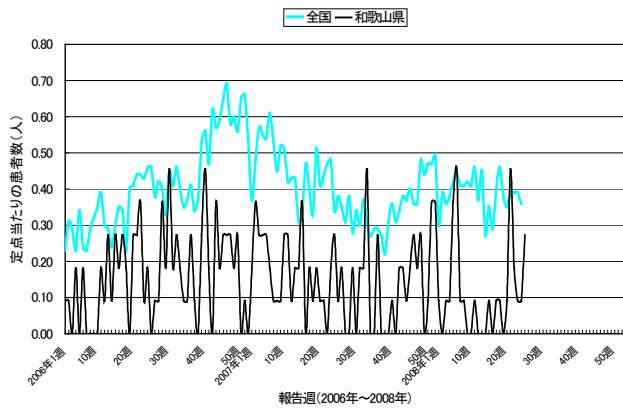
細菌性髄膜炎



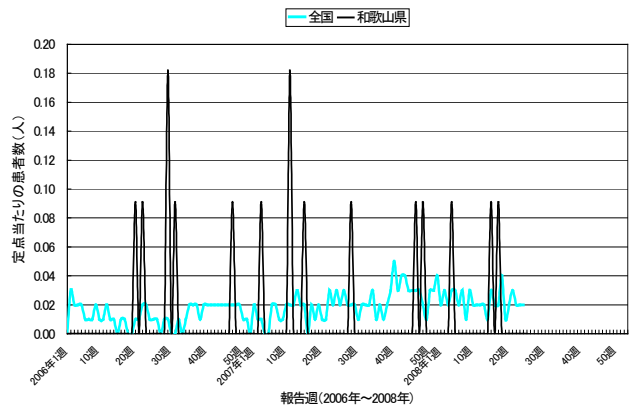
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



◆◆ 集計データ ◆◆

<全数把握対象感染症>

2008年第25週 保健所別の患者報告数 ()内は2008年累計

分類	感染症名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮 (串本)
1類	エボラ出血熱										
	クリミア・コンゴ出血熱										
	痘そう										
	南米出血熱										
	ペスト										
	マールブルグ病										
2類	ラッサ熱										
	急性灰白髄炎										
	結核	2(150)	2(64)	0(12)	0(13)	0(17)	0(12)	0(10)	0(18)	0(4)	
	ジフテリア										
	重症急性呼吸器症候群										
3類	鳥インフルエンザ(H5N1)										
	コレラ										
	細菌性赤痢	0(1)			0(1)						
	腸管出血性大腸菌感染症	1(8)	0(1)	0(1)		0(2)	1(2)		0(2)		
4類	腸チフス	0(1)			0(1)						
	パラチフス										
	E型肝炎	0(1)	0(1)								
	ウエストナイル熱										
	A型肝炎										
	Eキノコックス症										
	黄熱										
	オウム病	0(1)	0(1)								
	オムスク出血熱										
	回帰熱										
	キャサヌル森林病										
	Q熱										
	狂犬病										
	コクシジオイデス症										
	サル痘										
	腎症候性出血熱										
	西部ウマ脳炎										
	ダニ媒介脳炎										
	炭疽										
	つつが虫病	0(1)								0(1)	
	デング熱										
	東部ウマ脳炎										
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)										
	ニパウイルス感染症										
	日本紅斑熱										
	日本脳炎										
	ハンタウイルス肺症候群										
	Bウイルス病										
	鼻疽										
	ブルセラ症										
	ベネズエラウマ脳炎										
	ヘンドラウイルス感染症										
	養しんチフス										
	ポツリヌス症										
	マラリア										
	野兔病										
	ライム病										
	リッサウイルス感染症										
リフトバレー熱											
類鼻疽											
レジオネラ症	0(2)	0(1)						0(1)			
レプトスピラ症											
ロッキー山紅斑熱											
5類	アメーバ赤痢	0(3)	0(3)								
	ウイルス性肝炎	0(1)	0(1)								
	急性脳炎										
	クリプトスポリジウム症										
	クロイツフェルト・ヤコブ病										
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0(1)		0(1)							
	後天性免疫不全症候群	0(3)	0(2)	0(1)							
	ジアルジア症										
	髄膜炎菌性髄膜炎	0(1)	0(1)								
	先天性風しん症候群										
	梅毒	0(1)	0(1)								
	破傷風										
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症										
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症										
風しん	0(2)	0(2)									
麻しん	0(35)	0(20)	0(3)	0(1)		0(9)	0(2)				

< 定点把握感染症（週報） >

10週分（2008年16週～2008年25週）の患者報告数（和歌山県） ※○印は警報、△印は注意報

疾病名	2008年16週	2008年17週	2008年18週	2008年19週	2008年20週	2008年21週	2008年22週	2008年23週	2008年24週	2008年25週
インフルエンザ	4	4	2	3	3	5	3	1	0	0
RSウイルス感染症	3	7	11	1	7	9	4	6	19	9
咽頭結膜熱	2	16	3	4	10	12	14	12	11	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	34	22	21	43	44	45	66	47	40
感染性胃腸炎	217	238	207	154	191	195	142	156	154	100
水痘	43	79	61	85	71	73	85	64	71	67
手足口病	1	0	0	1	5	0	6	6	12	18
伝染性紅斑	4	5	6	4	1	2	0	1	2	2
突発性発疹	24	22	23	11	24	16	33	23	23	32
百日咳	0	2	0	0	2	1	4	4	4	3
ヘルパンギーナ	1	4	2	2	5	5	11	14	15	24
流行性耳下腺炎	2	3	2	3	3	3	4	2	6	4
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	2	0	0	5	0	0	0	2	1
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	1	0	1	5	2	1	1	3
クラミジア肺炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

10週分（2008年16週～2008年25週）の定点当たり患者報告数（和歌山県） ※○印は警報△印は注意報

疾病名	2008年16週	2008年17週	2008年18週	2008年19週	2008年20週	2008年21週	2008年22週	2008年23週	2008年24週	2008年25週
インフルエンザ	0.08	0.08	0.04	0.06	0.06	0.10	0.06	0.02	0.00	0.00
RSウイルス感染症	0.10	0.23	0.35	0.03	0.23	0.29	0.13	0.20	0.63	0.30
咽頭結膜熱	0.06	0.52	0.10	0.13	0.32	0.39	0.45	0.40	0.37	0.37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90	1.10	0.71	0.68	1.39	1.42	1.45	2.20	1.57	1.33
感染性胃腸炎	7.00	7.68	6.68	4.97	6.16	6.29	4.58	5.20	5.13	3.33
水痘	1.39	2.55	1.97	2.74	2.29	2.35	2.74	2.13	2.37	2.23
手足口病	0.03	0.00	0.00	0.03	0.16	0.00	0.19	0.20	0.40	0.60
伝染性紅斑	0.13	0.16	0.19	0.13	0.03	0.06	0.00	0.03	0.07	0.07
突発性発疹	0.77	0.71	0.74	0.35	0.77	0.52	1.06	0.77	0.77	1.07
百日咳	0.00	0.06	0.00	0.00	0.06	0.03	0.13	0.13	0.13	0.10
ヘルパンギーナ	0.03	0.13	0.06	0.06	0.16	0.16	0.35	0.47	0.50	0.80
流行性耳下腺炎	0.06	0.10	0.06	0.10	0.10	0.10	0.13	0.07	0.20	0.13
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.25	0.50	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.50	0.25
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.09	0.09	0.00	0.09	0.45	0.18	0.09	0.09	0.27
クラミジア肺炎	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2008年第25週 保健所別の患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、-は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	11	3	4	1	0	0	2	1	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	18	8	1	0	2	1	○8	2	0
感染性胃腸炎	100	64	8	9	10	4	2	1	2	0
水痘	67	△40	13	3	0	2	0	5	3	1
手足口病	18	8	4	2	0	0	2	2	0	0
伝染性紅斑	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	32	10	4	5	0	7	1	4	1	0
百日咳	3	0	1	0	0	0	0	0	○2	0
ヘルパンギーナ	24	9	8	0	3	2	0	1	1	0
流行性耳下腺炎	4	1	0	2	0	1	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	-	-	-	-	-	0	-	-
流行性角結膜炎	1	1	-	-	-	-	-	0	-	-
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
マイコプラズマ肺炎	3	1	0	0	-	0	2	0	0	-
クラミジア肺炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-

2008年第25週 保健所別の定点当たり患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、-は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス感染症	0.30	0.00	2.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	0.37	0.33	1.00	0.25	0.00	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	2.00	2.00	0.25	0.00	0.67	0.50	○2.00	2.00	0.00
感染性胃腸炎	3.33	7.11	2.00	2.25	5.00	1.33	1.00	0.25	2.00	0.00
水痘	2.23	△4.44	3.25	0.75	0.00	0.67	0.00	1.25	3.00	1.00
手足口病	0.60	0.89	1.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.50	0.00	0.00
伝染性紅斑	0.07	0.11	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発疹	1.07	1.11	1.00	1.25	0.00	2.33	0.50	1.00	1.00	0.00
百日咳	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	○2.00	0.00
ヘルパンギーナ	0.80	1.00	2.00	0.00	1.50	0.67	0.00	0.25	1.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.13	0.11	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00	-	-
流行性角結膜炎	0.25	0.33	-	-	-	-	-	0.00	-	-
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	0.27	0.33	0.00	0.00	-	0.00	2.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-

和歌山県感染症情報（WIDR）2008 年第 25 号

発行日：平成 20 年 6 月 26 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目 1 番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。